

成果報告書に関する委員からのコメントについて

【流通経済大学】

- ・ 高度なロジスティクス実現に向けての研究拠点形成と人材育成-ロジスティクス・イノベーション・PJ-

(優れている点)

運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぶれることなく大学の強みである「ロジスティクス」を中心に据えた事業展開を実施している。先行き不透明な時代において、企業、業界団体、政府等とともに高度なロジスティクス・イノベーションを実現させるとする点は評価される。 ・ 事業全体を PDCA サイクルで大学全体としてマネジメントする体制をしっかりと構築している。 ・ 新型コロナウイルス禍においても、ロジスティクスに与える影響を研究課題とするなど、時流に合わせて本事業をうまく活用している。
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業のテーマが大学の中心的な特性と合致し、かつ IoT、AI、ロボットなど近年発達が目覚ましい技術分野の影響を踏まえた内容となっている。
専門分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究期間中にコロナ渦となり、社会的に物流への大きな関心が集まる中、今後のロジスティクス・イノベーションをけん引する大学として、自らをその研究拠点としてさらに高い水準に形成する試みを、多様な研究を実施するなかで実現している。 ・ 学生、企業人が研究に参加することと研究を発信して小学生にまで興味を抱かせることにより、異なる年齢層に後継となる人材育成を果たしている。

(改善を要する点)

運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな問題は見受けられず、本事業を上手く利用した好例であると言える。今後についても大学のミッションに沿った展望が説明されており、更なる事業展開に期待したい。
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業による研究成果がどのように物流事業者や一般市民に認知され、大学全体のブランド向上に寄与したか、定量的な検証ができることが望ましい。 ・ 研究成果を「流通の生産性」という視点から捉えて整理することにより、更なる研究ブランディングの発信が期待できる。
専門分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改善を要するという意味ではないが、オリンピック運営開催にも関わりスポーツ分野のロジスティクス研究について計画した 2020 年度のシンポジウムが中止となっており、今後の開催と研究成果の普及が望まれる。 ・ 高齢化が進む、運転免許返納なども相まって、増加する買い物弱者への支援が喫緊の課題となってくる。これへの対応は視野に入っているようだが、具体策の提案を期待したい。